



天皇賜杯第71回全日本軟式野球日高支部大会（会場：日高町営富川球場）

日高町 議会だより

No.42

平成28年7月26日発行
日高町議会

議会6月会議..... 2p

一般質問は8人

「甘草の販売契約は」ほか..... 4p

議会報告会開催のお知らせ..... 16p

議会6月会議は、6月15日から17日まで3日間開かれました。

8人の議員が一般質問を行い、活発な議論が展開されました。

株式会社日高アグリ経営状況に関する報告、ホッカイドウ競馬振興株式会社の経営状況に関する報告などがあり、28年度一般会計補正予算、辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定についてなどの議案が審議されました。

また、「新たな高校教育に関する指針」の見直しを求めるなど2つの意見書が可決されました。

議会6月会議

町長行政報告

日高町産馬GIレース優勝

5月1日に京都競馬場で行われた中央競馬GIレース第153回天皇賞で、有限会社ヤナガワ牧場生産のキタサンブラック号が優勝しました。同馬は、昨年の菊花賞に続き、GIレース2勝目となります。

また、同日に香港で行われた第16回香港チャンピオンズマイルGIで、戸川牧場生産のモリス号が優勝しました。同馬は、昨年のJRA年度代表馬でもあり、これでGIレース4勝目となります。

5月5日に行われた地方競馬の統一JPN1レース第28回かしわ記念で、有限会社ヤナガワ牧場生産のコパノリッキー号が優勝しました。同馬は一昨年に続きこのレースを制し、GIレース6勝目になります。

各優勝馬を生産された牧場関係者の皆様のご努力に敬意を表し、心からお祝い申し上げます。

ホッカイドウ競馬

4月20日に門別競馬場で開幕しました。

発売成績は6月9日までの16日間で、発売額が43億6000万円、前年比で22・8%の増となり、好調なスタートとなりました。また、27年度の北海道地方競馬特別会計収支決算は、計画額、前年売上額ともに上回り、2億円の黒字になりました。

見通しとの公表がありました。これで3年連続での黒字となり、関係者のご努力に敬意を表するところで、本年度も11月10日までの80日間、全日程ナイター競馬として開催が予定されていますので、皆様の更なるご支援とご協力をお願いします。

漁業の状況

	水揚量	前年対比	販売額	前年対比
さけ定置網漁	884.3 t	+102.9%	3億5214万円	+63.0%
かれい刺網漁	740.7 t	+10.0%	2億848万円	+12.9%
ほっけ刺網漁	209.4 t	+30.9%	3476万円	+42.3%
たこ漁	484.8 t	+7.4%	2億3378万円	△3.5%
つぶ籠漁	67.5 t	+75.0%	1867万円	+64.2%
昆布漁	42.6 t	△20.5%	4359万円	△31.1%
ホッキ栴曳き漁	109.0 t	+7.1%	4780万円	+14.1%
その他	388.6 t	+59.6%	2億2274万円	+15.1%
合計	2926.9 t	+35.6%	11億6264万円	+18.9%

〔参考〕

*当町の特徴的な2魚種（各漁業の内数として計上）

	水揚量	前年対比	販売額	前年対比
ししゃも	2.2 t	△26.5%	924万円	△15.1%
マツカワ	24.4 t	+237.0%	3301万円	+164.2%

門別国民健康保険病院小児科医師の招聘

北海道地域医療振興財団を通じて要請活動を行っていましたが、この度、招聘の決定をみました。

お迎えする医師は、畠山直樹氏であります。

畠山医師は、平成3年に札幌医科大学を卒業され、札幌医科大学医学部小児科学講座及び関連病院で勤務されました。平成26年4月からは旭川医科大学医学部小児科学講座の講師としてご活躍をされています。

門別国民健康保険病院には、平成28年10月1日より勤務される予定です。月曜日から金曜日まで小児科外来の診療を行う予定となっております。

畠山医師は日本小児科学会専門医のほか多くの資格を取得されており、地域医療にも大いに貢献していただけると期待をしております。

教育長行政報告

日高町ジュニア卓球クラブ

北日本大会、全国大会出場

日高町ジュニア卓球クラブに所属する小学生4人のチームが、江別市で開催された全道ホープス卓球大会の小学生女子団体の部で3位に入賞し、8月に秋田県横手市で開催される北日本大会への出場が決定しました。

メンバーは、

門別小学校5年生の本間あみさん、築山莉奈さん、3年生の吉本はなさんと浦河町立堺町小学校6年生の坂下史奈さんの4人です。

現在、8月の北日本大会に向けて練習を続けていますので、練習の成果を發揮し、一試合でも多く勝ち抜くことを期待しています。



▲全国大会に出場する日高町ジュニア卓球クラブ
(左から築山さん、本間さん、坂下さん、吉本さん)

ます。

また、メンバー最年少の3年生の吉本さんは、全日本選手権大会北海道予選のカブの部（小学校3・4年生）で5位となりましたので、7月に神戸市で開催される全国大会への出場が決定しました。

日ごろの厳しい練習に耐えられた輝かしい成果であり、その努力と健闘をたたえますとともに、今後さらなる活躍を期待しています。

同意

推薦同意

▼人権擁護委員候補者の推薦
次の方が推薦されました。

【新任】

庄野 均 氏（富川東）
本間 達 氏（山手町）

【再任】

今 秀記 氏（宮下町）

報告

▼土地開発公社の経営状況に関する報告

▼株式会社日高アグリを経営状況に関する報告

▼ホッカイドウ競馬振興株式会社を経営状況に関する報告

▼27年度一般会計繰越明許費繰越計算

▼27年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算

▼27年度水道事業会計予算の繰越

▼専決処分の報告

28年度日高町国民健康保険事業特別会計補正予算

議案

原案可決

▼町立日高地区生活支援ハウスの設置及び管理に関する条例の一部改正
利用料の減免規定に、特別の理由があるときは町長が認める額を追加

▼辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定
庫富辺地に係る公共的施設（福満地区農道）の整備を推進するための計画を策定

▼辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更
日高辺地に係る公共的施設（町営バス更新、診療所改築等）の整備を推進するための計画を追加

▼北海道市町村職員退職手当組合理約の変更
字句整理と団体の一部が脱退することに伴う変更

◆28年度補正予算 原案可決

	補正額	歳入歳出総額
一般会計（第2号）	2億2513万円増	100億1641万円
国民健康保険事業特別会計（第2号）	400万円増	19億7387万円

▼北海道市町村総合事務組合規約の変更
▼北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更
右記2件は、団体の一部が脱退することに伴う変更

●主な内容（一般会計）

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金	1億1322万円
富浜港町団地建設工事増	5400万円
さるがわせせらぎ公園電線ケーブル等設置工事	956万円
ひだか高原荘温泉ろ過機更新工事	780万円
防災行政無線デジタル化事業実施設計委託料	723万円
旧豊郷小学校教職員住宅解体工事	486万円
山村活性化対策事業委託料	400万円
新栄団地内・外部改修工事	324万円
住宅リフォーム補助金増	300万円
合併処理浄化槽設置費補助金増	220万円
水・くらしサービスセンター玄関ポーチ改修工事	132万円
サンゴの滝復旧工事	110万円



▲サンゴの滝(日高地区)



議会6月会議で可決した意見書は関係機関に送付しました。(内容は要約しています。)

■「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子供の実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書 原案可決（提出者 高橋克徳議員）

希望する子供たちに豊かな後期中等教育を保障していくためにも次の事項を要望する。

- ①広大な北海道の実情にそぐわない「新たな高校教育に関する指針」を抜本的に見直しすること。
- ②「公立高校配置計画」は、道民の切実な意見に真摯に耳を傾け、一方的な策定は行わないこと。
- ③教育の機会均等を保障するため、「遠距離通学費等補助制度」の5年間の年限を撤廃し、高校が存在しない町村から高校へ通学する子供たちも制度の対象とすること。
- ④障がいのある・なしに関わらず、希望する子供が地元の高校に通うことのできる後期中等教育を保障するための検討を進めること。

■「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、子供の貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書

原案可決（提出者 高橋克徳議員）

子供たちは、住む地域や環境に関係なく平等に教育を受ける権利を有していることから次の事項を要望する。

- ①義務教育費を無償にし、また、義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率を1/2に復元すること。
- ②「30人以下学級」を早期実現させ、教職員定数改革に必要な予算の確保拡充を図ること。
- ③教頭・養護教諭・事務職員の全校配置を実現すること。
- ④給食費、修学旅行費、教材費など教育予算の十分な確保、拡充を行うこと。
- ⑤経済的な理由により子供たちが進学・就学を断念するなどの「子供の貧困」を解消するために就学援助制度の堅持、教育予算を十分に確保し、返還義務を伴わない給付型奨学金などの拡充を行うこと。
- ⑥高校授業料無償制度への所得制限撤廃及び朝鮮学校の授業料無償化適用除外の撤回を実現すること。

議会傍聴に行こう

会議当日に議場傍聴席入り口の受付にて氏名等をご記入いただくだけで傍聴できます。

※日高総合支所では、テレビ中継で傍聴ができません。

次に一般質問がある会議は9月中旬を予定

詳しいことは、議会事務局に確認願います。

■介護保険から「要介護1・2」の「保険外し」を中止し、安心・安全の介護保障を求める意見書
原案否決（提出者 本宮幹夫議員）



本宮 幹夫議員

『甘草の販売契約は』 『工事入札制度の予定価格 に関する調査の進行状況は』

【甘草の販売量と金額】

問 ㈱日高アグリは、甘草の販売先である㈱ソワンド・ポータと販売契約書を取り交わしましたか。

答 販売契約を取り交わしました。

問 販売契約書での販売量と販売価格は、いくらになっていきますか。

答 販売量と販売価格は、公表できません。

問 町が㈱日高アグリに損失補償（1億3千万円）をしていることを考慮しても、公表できないということですか。

答 情報公開条例で非開示の要件として当該法人が「事業運営上、不利益を被り」というのがあり、該当すると判断したためです。

問 ㈱日高アグリに対する町の支出を考えると、あり得ない判断です。

公表ができないことに対して強く抗議します。

㈱日高アグリの実業計画が、全員協議会で説明され

ました。

収入は、㈱ソワンド・ポータへの甘草売上金額です。事業計画の収入金額と契約書の販売金額が乖離していて、それを回避するための措置ではないのですか。

答 乖離はありません。販売契約には、量と価格の記載はありません。

別に覚書を交わして、その中に販売量と販売価格を記載しています。

問 販売契約書に量と価格の記載をしないで覚書に記載したのはなぜですか。

答 相手側の要望です。

問 インターネット上で「日高の甘草茶」として販売されています。

この甘草茶の包装を見ると㈱日高アグリ住所は役場と同じ住所が記載されています。

記載の電話番号に電話すると農務課長が電話に出ます。町職員が中心に動いています。

「町が丸抱え」の企業ではないでしょうか。

㈱日高アグリを設立した意味がありますか。

答 町が丸抱えではありませんが、経費削減で現在のような状況になっています。

問 ㈱日高アグリ決算書に棚卸資産として約1億9千万円計上されています。

その根拠はなんですか。

答 25・26年度に植えた甘草の9万株です。

問 産業・建設常任委員会が圃場を視察しました。

25年度に植えた株は4万5千もなく、26年度はほとんど壊滅状況です。

9万株を棚卸資産に計上するのは、粉飾決算ではないですか。

答 ㈱日高アグリでは毎月、顧問税理士が状況を確認しています。

甘草は、植物で地下で生きているものなので、特殊事情もあり、会社ではそのようにしたと聞いています。

問 早急に実地棚卸をして、事業計画と収支報告書を作り直すべきです。

答 今年の秋口までに26年度の圃場の生育状況を見て、棚卸資産についての考え方を㈱日高アグリで検討します。

〈答弁者 本庁担当副町長・農務課長〉

【工事入札制度の予定価格に関する調査】

問 調査の進行状況はどうなっていますか。

答 調査対象となる工事の入札執行事務にかかわった職員を特定して聞き取り調査をする予定です。

〈答弁者 総務課長〉



西尾 英俊議員

『日高国保診療所と無医地区の対策は』

【日高地区の医療の課題】

問 日高国保診療所の医療スタッフの現状と課題について伺います。

答 現在、医師1人、看護師8人、診療放射線技師1人、事務兼務の臨床検査技師1人です。

しかし、本年4月より日高寿園に看護師2人の派遣と1人の支援をしていますので、診療所の看護体制は5人です。今後も医療スタッフの確保に向けて取り組みます。

日高寿園には、看護師確保の努力を要請します。

問 日高地区の医療の現状と問題点について伺います。

答 診療所は、日高地区唯一の一次医療機関とし

て、地区住民に対し安心・安定的な医療を提供する役割を果たしています。また、日高地区には、高齢者福祉施設・宿泊施設・観光施設があることから、疾病やけがなどによる初期救急の受け入れが求められています。

救急搬送については、高規格救急車の配備や札幌と旭川の両方の地域の活用が可能なドクターヘリのエリアとなっており、充実した救急搬送体制が確保されています。

問 日高地域医療・福祉・介護連携調整会議の取り組み状況はどうなっていますか。

答 本年度より町の要綱で定めている「日高町日高地域ケア会議」に一本化

し、各部門の連携、個々のケース対応、地域ケアの総合調整等、協議・検討を行っており「日高地域包括ケアシステム」の構築についても作業を進めています。

問 日高地区の福祉施設における課題はありますか。

答 自宅での生活が困難で、介護度等により特養施設等に入所できない高齢者への支援策が急務と考えており、日高せせらぎ荘を増築し、ヘルパー等の常駐を検討しています。

問 日高国保診療所改築の進捗状況はどうなっていますか。

答 昨年9月に診療所周辺の現況測量を行い、本年5月に基本設計の委託を

行っています。

今後は、9月までに基本設計を完了し、実施設計を行い来年度の建設に向け予算に反映させます。

問 日高・門別地区で説明会を開催しますか。

答 日高地区では、本年5月に自治会役員会、日高地区連合自治会総会で説明をしました。門別地区での説明会は、現在、予定はしていません。

〈答弁者 日高国保診療所事務長〉

外来と午後の訪問診療の体制で、土日・祝日・夜間は医師が不在です。

また、庫富、広富、豊郷、清島、賀張、美原、豊田、正和、三和の地域は、通院するには不便な地域で、自家用車を持たない方は、デマンドバス・道南バスのほか、民間医療機関で行っている送迎サービス等を利用しています。

町は、通院手段としてのデマンドバスの継続のほか、疾病の予防、健康保持増進のための特定健診等や保健師、歯科衛生士、栄養士による家庭訪問、老人クラブ等を対象とした健康相談での保健指導を実施します。

〈答弁者 健康増進課長〉

【無医地区への対策】

問 無医地区の現状と対応策について伺います。

答 厚賀地区の民間医療機関は、週3回の午前中

〈答弁者 健康増進課長〉



工藤 守弘 議員

『保育士の処遇改善を』 『がん検診受診率の向上対策は』

【保育所の運営状況】

平成28年4月1日現在の各保育所の定員、入所児童数、入所率はどのようになっていますか。

別表1のとおりです。

別表1

	定員	入所児童数	入所率
富川二葉保育所	120人	102人	85%
門別わかば保育所	60人	64人	107%
厚賀すずらん保育所	45人	22人	49%
日高保育所	60人	25人	25%

定員を超過して入所させることに問題ありませんか。

保育所への入所の円滑化を図るというところで、2割増しまでは問題ありません。

保育士の定数は、どのように算出しますか。

都道府県の条例で定めるところとされており、

当町においても道条例の基準により算出しています。

保育士の配置数は何人ですか。

富川二葉保育所は保育士13人、保育助手1人の計14人、門別わかば保育所は保育士8人、厚賀すずらん保育所は保育士3人、日高保育所は保育士3人、保育助手2人の計5人を配置しています。

保育士(保育助手含む)の非正規職員数は何人ですか。

二葉保育所は9人、門別わかば保育所は5人、厚賀すずらん保育所は2人、日高保育所は2人が非正規職員です。

正規職員と非正規職員では業務内容に違いはありますか。

保護者の方から見た場合せんが、正規職員はクラスを担任したり、保護者との連絡する連絡帳の記載などの事務処理をしています。

非正規職員を正規職員として登用することは考えていませんか。

現状の段階では、正規職員化していくというのは難しいと思います。ただ、待遇改善については考えていると理解していただきたいと思います。

AED(自動体外式除細動器)を設置していますか。

全ての保育所で設置しています。

AEDに関する職員研修等を実施しましたか。

今後、実施する予定で消防と協議しています。

保育サービス向上のための第三者評価を実施していますか。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

非正規職員を正規職員として登用することは考えていませんか。

現状の段階では、正規職員化していくというのは難しいと思います。ただ、待遇改善については考えていると理解していただきたいと思います。

AED(自動体外式除細動器)を設置していますか。

全ての保育所で設置しています。

AEDに関する職員研修等を実施しましたか。

今後、実施する予定で消防と協議しています。

保育サービス向上のための第三者評価を実施していますか。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

【がん検診の受診率】

過去3年間の受診率はどのようになっていますか。

別表2のとおりです。

別表2

	24年度	25年度	26年度
胃がん	18.4%	11.4%	14.3%
肺がん	19.1%	12.9%	15.3%
大腸がん	22.9%	18.6%	23.9%
子宮頸がん	29.5%	29.2%	33.5%
乳がん	29.4%	36.1%	39.9%

受診率向上のためにどのような対策をとっていますか。

町広報、チラシ、ポスター、パンフレットなどで受診勧奨しています。

がん検診対象の40歳の方には無料受診券を配布し、27年度からは「健康づくりポイント事業」を実施しており、検診等受診者に「ひだかカード」のポイントを付与しています。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

今年3月に福祉サービスの基本方針・内容評価基準等の変更もあり、実施について検討をしています。

《答弁者 総務課長・保育所管理者》

《答弁者 健康増進課長》



佐藤はなえ議員

『胃がん対策におけるピロリ菌除菌の取り組み』 『病児・病後児保育の実施を』

【ピロリ菌除菌の取り組み】

問 昨年の12月5日に、公明党日高支部女性局が中学生を対象に無料のピロリ菌検査・除菌を行う事業を早期に導入することを求め、町長へ2110人分の署名を提出し陳情しました。

答 町は、希望する中学生に無料でピロリ菌感染検査を実施すべきと考えますが、

問 ピロリ菌検査・除菌は、子ども達の胃がん、胃炎等の早期発見や治療、ひいては健康の保持増進を図るため必要と考えますので、29年度から実施できるように準備を進めています。

答 また、保護者や一般住民の理解が不可欠なことから、正しい知識、必要性につ

て理解を深めていただくため、町広報による周知、消化器専門医師による講演会を開催します。

問 教育現場では、中学生を対象としたピロリ菌感染検査をどう考えていますか。

答 これまでに、町内の中学校長に対して説明し理解をいただいていると認識しています。

問 実施方法については、中学生の学業や現場の教師に負担をかけないよう、学校保健安全法で行われている学校健診の尿検査にピロリ菌抗体検査を加え、一次検査で行う方法を考えています。

答 中学生が検査し陽性と判定された場合、二次検査・除菌治療等を無料にしますか。

問 29年度の実施に向け、町民である一定の年齢の方に、成人者のピロリ菌感染検査費用と陽性判定された方への除菌治療費用の助成事業を検討されてはいかがですか。

答 40歳の方を対象にピロリ菌感染検査の無料受診券を配布し、町で委託しているがん検診とセットで検査できるよう検討しています。

問 町民が元気に暮らすためにも、特定健診の時にピロリ菌感染検査を導入するべきだと思いますが。

答 ピロリ菌感染検査は、陽性者を除菌治療につ

なげ、胃がんになるリスクを下げるのが目的であり、まずことから、町内医療機関等と協議しながら実施について検討します。

〔病児・病後児保育〕

問 子ども・子育て支援制度が27年度からスタートし、当町においても子ども・子育て支援事業計画が策定されました。

答 子ども・子育て支援策として、国の実施要件が緩和され、環境を整えば実施に向けての取り組みを検討したいと考えています。

問 仕事と育児の両立を支援し安心して子育てができる環境づくりの観点から病児・病後児保育事業の実施が必要と考えますが。

答 計画策定前の調査によりニーズがあることを把握しています。

しかし、実施するには、保育室・児童の静養室・隔離の機能を持つ観察室を増築、現在の職員配置数に加え看護師や病児担当保育士の配置、医師との連携、さらに、延長保育事業や夜間保育事業の実施が必要になることから、当町には難しいと判断しました。

《答弁者 健康増進課長》
《答弁者 健康増進課長》
《答弁者 子育て福祉課長》



互野 利夫議員

『米の減反政策制度の現状は』 『公共施設等の維持管理は』 『日高国保診療所の運営と改築状況は』

【米の減反政策の実績】

問 27年度の水田作付と減反（直接支払交付金制度該当）等の実績について伺います。

答 別表のとおりです。

別表		門別地区	日高地区
水田作付	農家戸数	73戸	10戸
	面積	320.63ha	31.21ha
減反（直接支払交付金制度該当）	農家戸数	233戸	96戸
	面積	1240.20ha	313.70ha
	交付金額	4億3519万円	1億4557万円

問 この制度は、いつまで存続しますか。

答 国の政策が、大きく変更しない限り存続されるものと思っています。

《答弁者 農務課長》

【公共施設等維持管理】

問 主な未利用建物と今後の維持管理について伺います。

答 門別地区には旧正和生活館・旧三和小学校・富川研修所があり、日高地区には日勝スカイパーク・旧町長公宅・西一線会館・三岩生活館があります。

問 老朽化が著しく強風等により倒壊の恐れがある建物については、早急な対策が必要だと考えますが、そのような建物については、直ちに倒壊をとどめるような方策を講じたかと考えています。

答 道路・河川等の損傷箇所

問 道路・河川等の損傷箇所

答 路面調査を昨年度は日高地区、本年度は門別地区で行いました。

問 この結果により、ひび割れ・わだち等の損傷が数値化されますので、適切な維持管理計画につながると考えています。

答 河川等の防護柵が倒壊して危険箇所もあることから、早急な対策が必要だと考えますが、パトロール等を実施し

【日高国保診療所の運営】

問 診療所の曜日ごとの診療科目について伺います。

答 月曜日は一般内科、火曜日は一般内科と整形外科、水曜日（午前中）は

問 診療所の改築設計の内容は、どのようにになりましたか。

答 3室5床の有床診療所を設計することとしています。

問 福祉施設の充実も検討されていますが、現在の計画はどのようになっていますか。

答 せせらぎ荘に居室3室と相談室を増築する予定です。

問 せせらぎ荘の職員体制は、どのようになっていますか。

答 職員は、現状1名のほかに業務等を勘案してじっくり検討していきたいと考えています。

《答弁者 総合支所担当副町長・建設課長・地域経済課長》



菊地日出夫議員

『国民健康保険税の引き下げを』 『保育所・幼稚園の保育料の無料化を』

【国民健康保険税の引き下げ】

問 国は財政支援対策として、国民健康保険に加入している低所得者（保険税の軽減対象者）数に比べて27年度から約1700億円の財政支援措置を保険者（市町村）に行っています。財政支援措置を活用し国民健康保険税の引き下げを行うべきと思いますが。

答 財政支援措置は、国民健康保険保険基盤安定負担金（保険者支援制度）の改正によるものです。本制度は、平成15年に保険税の軽減対象となった一般被保険者数に応じて保険税の一定割合を公費で補填する制度で、低所得者を多く抱える市町村を支援する

目的で創設されました。26年度までは暫定措置で

したが、27年度の法改正により恒久化され、算定率も改正されました。当町の国民健康保険事業特別会計の運営は大変厳しい状況です。

27年度決算見込みで一般会計からの赤字補填として法定外繰入9579万2千円、被保険者一人当たり換算すると2万3335円繰入をしています。

国の財政支援は、保険税の伸びを抑制し現行税率を維持するために使われています。国は、保険税の伸びを抑制し、現行税率の維持に努めたいと考えています。

問 国の財政支援制度で、当町に毎年いくらか交付され、どのように使われ、どのように生かそうとして

いますか。

答 町への交付額は、改正前の26年度が1306万8千円、改正後の27年度が2791万5千円、28年度予算額では2586万3千円を計上しています。

27年度交付額の算定率改正による影響額は1308万1千円です。交付金は、毎年度国民健康保険事業特別会計の一般会計繰入金に繰入を行って

います。今後も、保険税の伸びを抑制し、現行税率の維持に努めたいと考えています。

《答弁者 保険年金課長》

【保育所・幼稚園の保育料の無料化】

問 当町の出生率が全道的に高いのは、町の施策として子育て支援センターの開所、乳幼児健診の充実、乳幼児等医療費の中学卒業までの無料化、学校給食の自校方式、0歳児保育などのさまざまな事業の成果と

思います。これからも子育て支援を充実させるためには、保育所・幼稚園の保育料の無料化に向けた施策が必要だと考えますが。

答 国では、子ども・子育て支援制度の施行により、幼児教育の提供体制の充実が図られています。当町においても、新制度に移行した幼稚園、保育所

の利用者負担の基準額が、年収約360万円未満相当の世帯の多子軽減における年齢上限を撤廃しました。

また、年収約360万円未満相当のひとり親世帯等の負担軽減を拡大し、第1子は現行の半額、第2子は無償化にしました。当面はこの制度で運営していきたくと考えています。

新制度に移行していない私立幼稚園は、国の定める幼稚園就園奨励費補助金制度により、教育委員会が補助することになっています。

《答弁者 子育て福祉課長》



高橋 克徳 議員

『誰もが暮らしやすい町にするための施策を』 『平和教育の実践状況は』

【市民後見人の取り組み状況】

問 市民後見人の養成の取り組みをしていますか。

答 今後、益々ニーズが高まることから、29年度までに策定する国の認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）に基づく町の計画の中で検討します。

また、成年後見制度利用支援事業については、28年度中に規則・要綱を定めま

問 市民後見人の養成を実施していく上で役職員員の退職者を充てては可能ですか。

答 今後、可能であれば検討をしていきたいと思っています。

市民後見人とは一般町民による成年後見人。認知症や精神的、知的障害などで判断能力が不十分になった場合に、親族等がいない場合、本人に代わって財産管理や契約などの手続きをサポートする。

【施設のバリアフリー点検】

問 各施設、バリアフリー点検をしていますか。

答 点検は実施していませんが、建物の段差等は概ね把握しています。

わくわく館は、バリアフリーですが、保育所、老人憩いの家、とみかわ児童館、母と子の家は、バリアフリーになっていません。門別地区の生活館や会館は、1施設（富川生活館）のみバリアフリーです。

日高地区の生活館、日高くるみ荘はバリアフリーになっていません。

平成12年以前に建築した公営住宅は、バリアフリーになっていません。

未整備の施設については、必要に応じて対応します。

また、小中学校については在籍する児童生徒の状況に応じて適宜対応します。

【訪問診療への取り組み】

問 門別国保病院訪問診療に関する取り組みは、今後どうなりますか。

今後どうなりますか。

答 在宅医療は、今後益々増加すると考えられることから、関係者がそれぞれの役割や機能を分担しネットワーク化することで在宅医療を推進します。

問 訪問診療に関する発表の場を健康まつり等で行ってはいかがですか。

答 道ホームヘルプサービス協議会で事例発表があったことは把握していません。まつりの内容は、今後実行委員会で決定しますが、関係各機関と協議しながら検討していきます。

問 日高地区における訪問介護の実態と今後の取り組みについて伺います。

答 保健師の訪問やケース会議等で情報収集・共有をさらに強化し、適切なサービス提供に努めます。

《答弁者 本庁担当副町長・地域住民課長・子育て福祉課長・健康増進課長・門別地域包括支援センター施設長》

【平和教育に関する実践】

問 過去の社会教育や学校教育で平和教育を取り組んでいますか。

答 学習指導要領に基づき小学校は6年生の社会で、中学校は社会の歴史的分野や道徳、国語、英語で平和について広く学んでいます。

社会教育では特に実施していませんが、門別図書館において関連するコーナーを設置しています。

問 町内に在住している方の戦争体験談の発表も取り組むべきだと思いませんか。

答 非常に重要と考えており、国際社会の平和と発展に貢献するという視点からも総合的な学習や各教科で適切に実施します。

《答弁者 教育長・管理課長・生涯学習課長》



真壁 悦夫議員

『JR日高線の早期復旧を』 『国民健康保険等の負担軽減を』 『緊急性を要する町道などの改修状況は』

【JR日高線の再開要求を】

問 バス代行が利用しづら
いなど問題がでていま
す。日高線を廃止してバス
に替えることは、公共交通
の衰退、消滅を招くものと
考えますが。

答 バス代行はあくまでも
日高線開通までの手段
であり、JR日高線が早期
に復旧し恒久的に持続させ
る方策をJR日高線沿線自
治体協議会と協議をしてい
ます。

問 地元として、厚賀大狩
部間の被災箇所を通ら
ない乗り入れ可能な鷓川駅
〜厚賀駅間の運行再開を要
求すべきではありませんか。
答 鷓川駅でなく、門別駅
まで来れば生徒の通学
時間が短縮になると町長も

非公式には言っていますが、
今のところは各団体足並み
そろえて早期復旧着手を要
望していきます。

《答弁者 企画財政課長》

【国民健康保険等の低所得
者へ対策】

問 当町の国民健康保険加
入世帯の所得階層はど
のようになっていますか。

答 27年度末の実績で、所
得なし世帯が25・06%、
100万円以下の世帯が
24・58%、200万円以下
の世帯が21・78%、300
万円以下の世帯が13・08%、
400万円以下の世帯4・
94%となっています。

問 保険税の負担率が、一
番大きい世帯はどの所

得階層で、一番小さい世帯
はどの所得階層ですか。

答 税負担を負う所得なし
の階層が最も負担率が小
大きく、一番負担率が小
さい世帯は限度額に達してい
る場合の400万円超えの
所得階層になります。

問 所得200万円以下が
国保加入世帯の70%を
占めており、しかも所得無
し世帯の負担率が最も大き
いことから、低所得層の国
保税の負担軽減を図る必要
があるのではありませんか。

答 収入の種類により所得
の算出の仕方が違うので、
一概に所得階層だけで
支払い能力をはかれるもの
ではないと思います。

問 少ない年金で医療費が
かさんで困っている高

齢者に対し、東川町では今
年から3年間、75歳以上の
高齢者の外来医療費（町立
診療所に受診した場合の
み）を無料化にします。

問 改めて勉強させてもら
い検討していきたいと
思っています。

《答弁者 町長・保険年金
課長・税務課長》

【緊急を要する工事】

問 生活上危険を伴うため
に緊急性を要する町道
や河川フェンスなどの改修
をすべき箇所は、町内に何
力所ありますか。

答 早く行うべき補修工事を

直ちに発注できる体制はあ
りますか。

答 修繕を要する工作物の
箇所数は不明です。
工作物の維持、修繕は、
町道パトロールや町道維持
管理委託業者からの通報に
より破損箇所を把握し、路
肩損傷、側溝埋塞、マン
ホール周辺など数カ所を補
修予定です。

また、住民の方からの通
報もありますので、その都
度公共性、緊急性及び重要
度を判断し、修繕を実施し
ています。

《答弁者 建設課長》

（この他に法人が買い取っ
た農地の転作奨励金につい
て質問しました。）

5月会議

平成28年5月11日

報告

▼専決処分の報告

27年度一般会計補正予算

人事

▼固定資産評価審査委員会委員の選任

澤井 政雄 氏(富川東)

議案

▼税条例等の一部改正

改正 地方税法等の改正に伴う

- 申告後に減額更正がなされ、その後増額更正又は修正申告があった場合の延滞金の計算期間にかかる所要の規定の整備
- 法人町民税法人税割の税率を12・1%から8・4%に引き下げ
- 軽自動車税グリーン化特

◆28年度補正予算 原案可決

	補正額	歳入歳出総額
一般会計 (第1号)	1128万円増	97億9128万円
国民健康保険診療所事業特別会計 (第1号)	500万円増	2億1200万円

●主な内容

(一般会計)

ひだか高原荘関係工事実施設計委託料	280万円
コマチップ川小規模治山工事増	171万円
(国民健康保険診療所事業特別会計)	
診療所改築事業基本設計委託料	464万円

例の1年延長
○道税である自動車取得税が廃止になり、環境性能割(環境性能に応じ税率を規定し、購入価格に対し課税される新たな町税)の導入に伴う規定の整備

○固定資産税「わがまち特例(町独自で課税標準の特例率を定める制度)」にかかる対象施設等の追加
○マイナンバーの記載を要

しない町税に関する書類の追加

▼国民健康保険税条例の一部改正

改正 地方税法の改正等に伴う

○基礎課税額限度額を52万円から54万円に、後期高齢者支援金等課税額限度額を17万円から19万円に引き上げ。

○国民健康保険税の5割軽減と2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得を引き上げ。

▼地域包括支援センター設置条例の一部改正

介護保険法の改正に伴い事業名称の変更

▼損害賠償に係る和解及び損害賠償の額

負傷事故に関する和解及び損害賠償の額を定める。

7月会議

平成28年7月1日

町長行政報告

大雨による災害

6月16日から17日にかけて、門別地区で比較的同時に降った降雨がありました。降り始めから17日までの2日間の総雨量は、日高門別観測所で68mm、同じく新和観測所では83・5mmのまとまった強い雨を観測しました。

これにより土木被害が発生し、道路は、路肩決壊や側溝埋塞などの被災が19カ所、被災金額が1410万円です。

河川は、河岸決壊などの被災が6カ所、被災金額が1590万円です。

合計すると25カ所となり、被災金額は3000万円となりました。

被災した町道や河川については、一日も早い復旧に努め、作業を進めていきます。

教育長行政報告

バドミントン全国大会出場

日高地区バドミントン少年団に所属しています日高小学校2年の溝尾花奈さんが、6月25日〜26日に苫小牧市で開催された第17回全国小学生ABCバドミントン大会(1・2年の部)で優勝し、8月15日〜17日に埼玉県で開催される第17回全国小学生ABCバドミントン大会への出場が決定しました。

南北北海道の予選は他を寄せ付けない強さで勝ち上がっていますので、全国大会での活躍を期待しています。



▲全国大会に出場する溝尾花奈さん

空手全国大会出場

門別空手スポーツ少年団に所属しています富川小学校6年生の伊藤結月さんが5月14日～15日に千歳市で開催された北海道少年少女空手道錬成大会の小学6年女子「形の部」で優勝し3連覇を果たし、8月6日～7日に東京都で開催される全国大会への出場が決定しました。



▲全国大会に出場する伊藤結月さん

富川中学校3年生の坂本杏樹さんは、6月19日に北海道で開催された第21回北海道中学生空手道選手権大会兼第24回全国中学生空手道選手権大会北海道予選

会で中学生女子「形の部」で優勝し、8月26日～28日に新潟県で開催される全国大会出場の切符を手にしました。

両選手は現在、全国大会に向けて熱の入った練習を続けています。

全国の強豪選手を相手に、一試合でも多く勝ち抜くことを期待しています。

報 告

▼善行表彰

有限会社 成功 様
(札幌市)



▲全国大会に出場する坂本杏樹さん

議 案

原案可決

▼工事請負契約

公営住宅新築建築主体工事 (北通団地)

○工期

平成28年7月4日から平成29年1月13日まで

○契約金額

6199万2千円

○契約の相手方

磯田組・石谷 特定建設工事共同企業体

▼スクールバスの取得

○契約金額

2120万円

○契約の相手方

北海道いすゞ自動車株式会社 社内支店

◆28年度補正予算 原案可決

一般会計 (第3号)

補正額 歳入歳出総額
3000万円 増 100億4641万円

●主な内容 (一般会計)

単独災害復旧工事増 3000万円

議案等賛否一覧表

(賛否が分かれた議案等のみ掲載しています。掲載されていない議案等は全会一致で可決しています。)

提出者	議案名	議員名	議決結果	神保一哉	川淵健一	菊地日出夫	本宮幹夫	西尾英俊	村井文夫	寺越哲夫	柳北守隆	眞壁悦夫	門別初男	互野利夫	工藤守弘	高橋克徳	佐藤はなえ	
5月 町	国民健康保険税条例の一部改正		可決	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
6月 議員	「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子供の実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書		可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、子供の貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書		可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険から「要介護1・2」の「保険外し」を中止し、安心・安全の介護保障を求める意見書		否決	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 ※議長は表決権がない (一部を除く)

● 議会のうごき ●

【5月】

- 6日 広報広聴常任委員会
全員協議会小委員会
全員協議会
議会運営委員会
- 11日 議会5月会議
議員研修会
- 12日 日高町村議会議長会定期総会（新冠町）
- 23日 総務常任委員会
- 30～31日
町村議会議長・副議長研修会（東京都）

【6月】

- 3日 民生常任委員会
議員研修会
- 6日 全員協議会
総務常任委員会
広報広聴常任委員会
- 7日 産業・建設常任委員会
- 9日 北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）
- 10日 議会運営委員会
- 15日 議会6月会議（1日目）
広報広聴常任委員会
産業・建設常任委員会
- 16日 議会6月会議（2日目）
民生常任委員会
- 17日 議会6月会議（3日目）
議会議員定数等調査・検討特別委員会
- 22日 議員研修会
- 29日 議会運営委員会

【7月】

- 1日 議会7月会議
全員協議会
議会議員定数等調査・検討特別委員会
- 5日 北海道町村議会議員研修会（札幌市）
- 7日 広報広聴常任委員会
- 11日 広報広聴常任委員会
議会議員定数等調査・検討特別委員会

委員会活動

総務常任委員会

- 5月23日
・日高地区教育関連施設
（現地調査：日高小学校外6件）
- 6月6日
・日高地区教育関連施設

民生常任委員会

- 6月3日
・介護保険事業計画における今後の各種事業の推進計画
- 6月16日
・介護保険事業計画における今後の各種事業の推進計画

産業・建設常任委員会

- 6月7日
・甘草栽培
（現地調査：(株)日高アグリ of 甘草圃場）
- 6月15日
・甘草栽培
- 6月22日
・甘草栽培
（議員研修会）

広報広聴常任委員会

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 5月6日
・議会報告会 | 6月6日
・議会報告会 |
| 6月15日
・議会だより | 7月7日
・議会だより |
| 7月11日
・議会だより
・議会報告会 | |

編集後記

6月は小学校で運動会が開催され、7月に入り中学校では、中学校体育大会の各種競技の予選大会が始まりました。日高町の中学生の活躍に期待しています。

議会6月会議では、8人の議員が一般質問で登壇し今後のまちづくりに関する議論が交わされました。

議会の今後の予定は、議会報告会、議会議員定数等調査・検討特別委員会、議会広報研修会などが目白押しです。

子ども達から元気なパワーをもらって、この夏を乗り越えようと思います。

発行 北海道日高町議会
発行日 平成28年7月26日
編集 広報広聴常任委員会
高橋 克徳 眞壁 悦夫
川淵 健一 本宮 幹夫
寺越 哲夫 佐藤 はなえ
互野 利夫 工藤 守弘
住所 〒059-2192
北海道沙流郡日高町門別本町210-1
TEL 01456-2-6500 FAX 01456-2-5611

今年も開催
します。

議

会

報

告

会

今後の町づくりの
ために、ご意見、ご
提案をお聞かせくだ
さい。

多くの方のご来場
をお待ちしています。

テーマ

- 高齢者にやさ
しい町づくり
- 子育て支援
- 雇用創出

日時・場所

8月24日(水)
サン・ポッケ

8月26日(金)
富川公会堂

8月29日(月)
門別公民館

8月31日(水)
厚賀会館

いずれの会場も
午後6時～8時

問い合わせ先

日高町議会事務局

☎ 01456 - 2 - 6500